

## 令和3年度環境省入札監視委員会定例会審議概要

開催日及び場所	令和3年10月28日（木） 環境省第12会議室	
出席委員 〈50音順・敬称略〉	河野正男（大学名誉教授）、寺浦康子（弁護士）、 東田親司（大学名誉教授）、吉田博宣（大学名誉教授）、 和久友子（公認会計士）	
審議対象期間	令和2年4月1日から令和3年3月31日	
入札・契約方式	（件数）	抽出案件 <3件>
一般競争	1件	① 令和元年度（繰越補正）上信越高原国立公園鹿沢園地復旧工事
一般競争	1件	② 令和元年度（繰越）川湯集団施設地区廃屋解体（第1期）
指名競争	1件	③ 令和2年度みちのく潮風トレイル関係工事権利制限申請等支援業務
委員からの意見 ・質問、それら に対する回答等	■意見・□質問	回答等
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申又は勧告の内容	<u>意見の具申又は勧告はなし</u>	

## 委員からの意見・質問、それらに対する回答等

抽出案件	■意見・□質問	回 答 等
①令和元年度(繰越補正)上信越高原国立公園鹿沢園地復旧工事	□台風後、工事業者が忙しい中、入札条件を緩和しても1者応札の改善につながるのか。	□少しでも入札参加者を増やすべく入札条件の緩和を考えた。また、発注の時期などについても、なるべく、ずらして行うよう検討したい。
	□工事にしようする木材を群馬県産と指定したため手配に時間がかかったようだが、本件のような橋の工事のために長い木材が必要という特殊事情があるならば、群馬県産の木材にこだわる必要はないのではないか。	□木材の産地を指定したのは地域の活性化を考えてのこと。これにより、工事の遅延が生じたが、なんとか年度内に終了した。もし、年度を超えるような事態であれば、産地の見直しも検討したと思う。
	■特記仕様書には、木材を群馬県産の使用とあるが、事情があれば別の産地のものを使ってもよいのではないか。その方が工期も短縮できるはず。	□特記仕様書には群馬県産の木材使用と書いてある。しかし、これにより遅延が発生したのは事実なので、今後、この部分については検討したいと思う。
	■入札条件の中に、国又は地方公共団体発注実績をあげている。民間工事であっても同様の工事を行っていただければ良いのではないか。	□工事に関しては、国等と民間とで、さほど差はない。一方で、書類の手続き関し、国又は地方公共団体受注者の方が慣れていると感じてしまった。今後は、検討したいと思う。

<p>②令和元年度（繰越）川湯集団施設地区廃屋解体（第1期）</p>	<p><input type="checkbox"/>設計変更概要書に増員のことが記載されているが、現地以外からも人員の手配が必要だったのか。</p>	<p><input type="checkbox"/>現地は小さい町であったため、外から人を手配せざるを得なかった。</p>
	<p><input type="checkbox"/>小さい町で人の手配が難しいことは最初からわかっていたはず。契約後に変更契約で考慮しているのはなぜか。</p>	<p><input type="checkbox"/>入札直前に別の工事を受注してしまい、技術者が不足したため辞退したと聞いている。</p>
	<p><input checked="" type="checkbox"/>入札の条件に国または都道府県発注工事の受注があるが、これは必要なのか。</p>	<p><input type="checkbox"/>国には国の共通仕様書や基準がある。民間と違う部分もあるので、安全に正確にやってもらうには必要なことと考えていたが、今後は検討したい。</p>
<p>③令和2年度みちのく潮風トレイル関係工事権利制限申請等支援業務</p>	<p><input type="checkbox"/>標識の設置工事について、当初は103件で予定していたが、実施は151件になっている。これは、いざ詳細に検討したらやらなければならないということか。</p>	<p><input type="checkbox"/>業務を進めていくと、災害復旧の道路工事等の計画が変更になり、道路のルートも変わったため、それに合わせて本業務も変更になった。</p>
	<p><input type="checkbox"/>入札の条件を付けない完全な競争にしなかった理由はなにか。</p>	<p><input type="checkbox"/>今回は、ある程度資格のある方が対応しないと業務が実施できないと判断したので、簡易公募型をとり参加表明書を出してもらい、その者の中から参加いただく方を指名するという方法を採用した。</p>